

Monthly Confidential Report

(毎月1回20日発刊)

サマリー

月刊

電子写真総合情報

—MFP、光プリンター、レーザー/LED FAX、トナー、レジン、感光体、エンジン等を多角的に調査・分析するマーケティングレポート—

2022. 5



リコー (A3/カラー) RICOH P C6010



米・ブラザー工業 (A4/モノクロ) MFC-L2759DW



キヤノン (A3+/カラー) imagePRESS V1000



中国・G&G (A4/モノクロ) P2022W



日・中・米・欧の市場調査

株式会社 データ・サプライ

「実販情報」より抜粋

■ 実販情報 ■

F-カラープロダクションプリンタ (A3+) - キヤノン - 3

キヤノンのA3+カラープロダクションプリンタ(100ppm)の実販情報である。2020年には、販売数が若干減少したが、2021年は、対前年比1.2倍に増加した。

主な機種名	スピード (ppm)	販売エリア	出荷台数 (台)		
			'19	'20	21
ImagePRESS C1000VP/Server Model	100	日本			
		海外			
小計					

「その他情報」より抜粋

2) 複写機・プリンタ事業の売上高/営業利益の増減

単位:億円

メーカー		2021年度	2020年度	増減	
キヤノン (プリンティング)	売上高	19,388	18,044	1,344	7%
	営業利益	2,257	1,471	786	53%
リコー (デジタルサービス+プロダクト/グラフィックコミュニケーションズ)	売上高	19,800	18,936	864	5%
	営業利益	575	-336	911	-

<機種概要>

キヤノンの「imagePRESS C1000VP」は「imagePRESS C1000VP」は、2015年10月に発売された。その後、2020年10月に「imagePRESS C1000VP」が後継として「imagePRESS C1000VP」が発売された。この機種は、従来の「imagePRESS C1000VP」よりも、高画質化を追求し、高精細画像を生成(R-VCプロセッサ)による紙安定性の確保、さらには「imagePRESS C1000VP」のワークフロー管理が可能。「PRISM Web」によるスケジューリング機能、用紙キャリブレーション機能と競合に若干劣る点などが好評である。

<販売台数>

キヤノンの本シリーズは、2020年10月には、後継機種があったがその切り替え時期総販売台数が対前年比約1.2倍に増加したが、競合は更なる増速などが課題となる。

2021年度における売上高・増益の会社はキヤノン・リコー・富士フジタは2020年度に引き続き増益を達成。

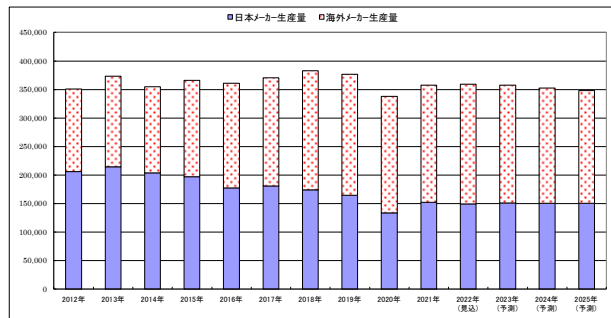
【特集】「感光体市場」より抜粋

1. 感光体の世界市場

1) 日本/海外メーカー別の生産量推移 (2012年~2025年)

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
日本メーカー生産量	205,858	214,714	203,700	197,075	177,672	181,022	174,180
対前年比	-	104.3	94.9	96.7	90.2	101.9	96.2
海外メーカー生産量	144,930	158,950	150,970	168,860	183,170	189,320	208,705
対前年比	-	109.7	95.0	111.9	108.5	103.4	110.2
合計	350,788	373,664	354,670	365,935	360,842	370,342	382,885
対前年比	-	106.5	94.9	103.2	98.6	102.6	103.4

	2019年	2020年	2021年	2022年 (見込)	2023年 (予測)	2024年 (予測)	2025年 (予測)
日本メーカー生産量	164,777	133,850	152,410	149,262	151,161	150,586	150,401
対前年比	94.6	81.2	113.9	97.9	101.3	99.6	99.9
海外メーカー生産量	211,900	204,060	205,380	210,260	206,750	202,250	197,850
対前年比	101.5	96.3	100.6	102.4	98.3	97.8	97.8
合計	376,677	337,910	357,790	359,522	357,911	352,836	348,251
対前年比	98.4	89.7	105.9	100.5	99.6	98.6	98.7



出所: 弊社「感光体マーケット総覧」より

2021年の全世界の感光体生産量は対前年比105.9%の3億5,779万本と増加した。前年のコロナ影響による大幅減となった日本メーカーは反動増がみられ、対前年比113.9%の1億5,241万本へと増加した。一方で、2020年の減少幅が小さかった海外メーカーはほぼ前年並みの生産量で推移した。

アフターコロナにおいては、在宅勤務の拡大によるオフィスプリント量の減少、複写機用感光体の長寿命化による交換需要の減少、トナー・ドラム分離型カートリッジのシェア拡大(プリンタ用)により、このままコロナ前の水準には戻らず、じわじわと減少していく可能性が高くなった。

需要が頭打ちとなるなか、日本メーカー、海外メーカーともに淘汰が進んでいく可能性もあるが、技術力・コスト力などの総合力に勝るメーカーが生き残っていくと予測する。

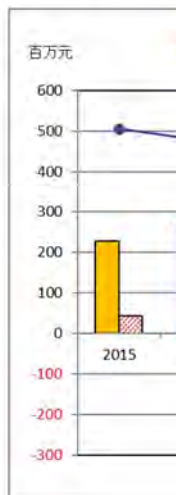
「その他情報」より抜粋

○ 決算 - 中国メーカー - 2

1. Suzhou Goldengreen Technologies

中国の大手感光体メーカー Suzhou Goldengreen Technologies (本社: 中国江蘇省蘇州市、以下 SGT) は 2021 年度 (1~12 月) の決算を発表した。売上高は前年同期比 51% 減の約 2 億 2,700 万元 (約 42 億円、1 元 18 円で計算)。純利益は約 1 億 6,900 万元 (約 3 億円)、純利益率は約 74.9% (約 13%) である。

年度	2015
売上高	227
純利益	42
純利益率	18.5%



「その他情報」より抜粋

○ プリンタ国産化 - Lenovo Image - 1

中国レノボ傘下のプリンタ事業会社 Lenovo Image は、プリンタの国産化を着実に進めている。同社のプリンタの LSU (Laser Scanning Unit) の約 85% は国内からの調達に成功し、今後は 100% の国産化を目指す。

LSU (Laser Scanning Unit) を製造しているのは、同社が 2015 年に設立した子会社「北京高德品創科技有限公司」。中国政府からの要請もあり、レーザープリンタに関するソフトウェアの自主開発及び部品製造会社を立ち上げた。

Lenovo Image は、LSU の生産を保有しており、2021 年に中国最速の成長を遂げた。「独立性」と「品質」を重視した GM263DN がベストセラーとなった。

「新製品及び消耗品情報」 【国内】<オフィス向け>より抜粋

N - モノクロプリンタ/MFP (A4) - 京セラドキュメントソリューションズ - 2

商品名	PA2000w/MA2000w			
標準価格	オープン (27,000 円前後/32,000 円前後)			
発売年月	2022 年 5 月下旬			
出力サイズ	A4			
スピード	20 枚/分(A4)			
複合状況 (※はオプション)	コピー	プリンタ	FAX	スキャナ
下表参照				
目標販売台数 (日本)	2,400 台/年			



MA2000w

【位置付け】

○ 新規	今回の機種は、欧州及び中国で先行発売している A4 モノクロのスーパーローエンド機を国内市場に投入するもの。新規開発エンジンを搭載。トナーと現像機 (現像ローラー、トナー供給ローラーなど) を一体化するなど、徹底して小型化と低コスト化にこだわったほか、トナーは従来の磁性 1 成分ではなく、非磁性 1 成分トナーを採用した。
後継	
その他	
OEM 受	

【販売ターゲット】

ターゲット SOHO や小規模事業所、在宅勤務向け。

【製品ラインアップと競合機】

※はオプション

機種名	発売日	価格 (万円)	出力 スピード (枚/分)	解像度 (dpi)	メモリー (MB)	給紙 容量 (枚)	ランニング コスト (円/枚)
PA2000w	22.5.下	2.7 前後	20	1,200	32	150	約 3.3
競合機 キヤノン 「Satera LBP6040」	14.5.29	1.38 前後	18	2,400 相当	32	150	約 3.9
ブラザー工業 「HL-L2330D」	18.6.上	1.5	30	1,200× 1,200	32	251	約 3.7

レノボは 1993 年から 2021 年までの累計販売台数は 1 億 7,000 万台以上。プリンタ事業会社として、2020 年に威海市 (約 100 万台以上を予定) に工場を建設し、また、2021 年 10 月に A4 モノクロ MFP を投入した。

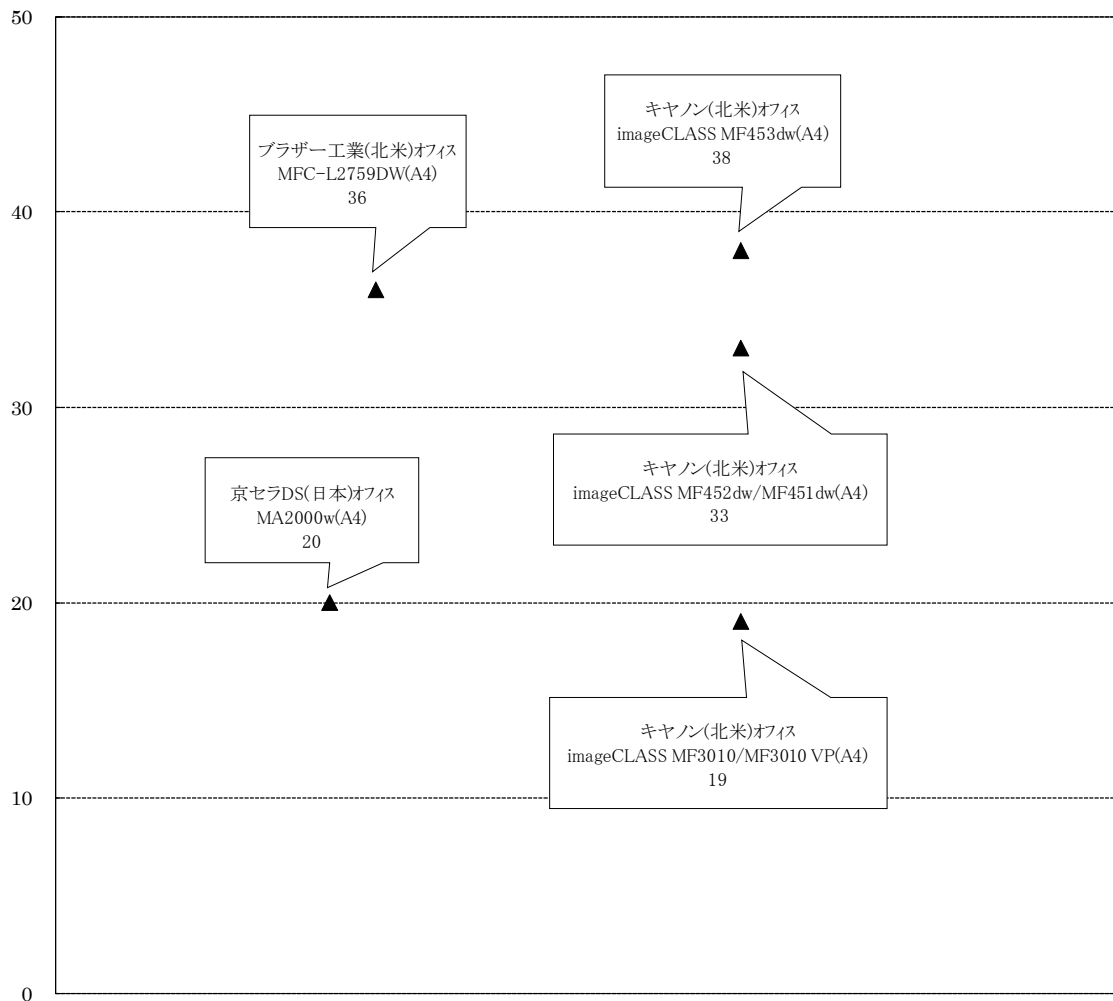
事業拠点について、2020 年に威海市 (約 100 万台以上を予定) に工場を建設し、また、2021 年 10 月に A4 モノクロ MFP を投入した。

2022. 5 Executive Summary

[今月の新製品]

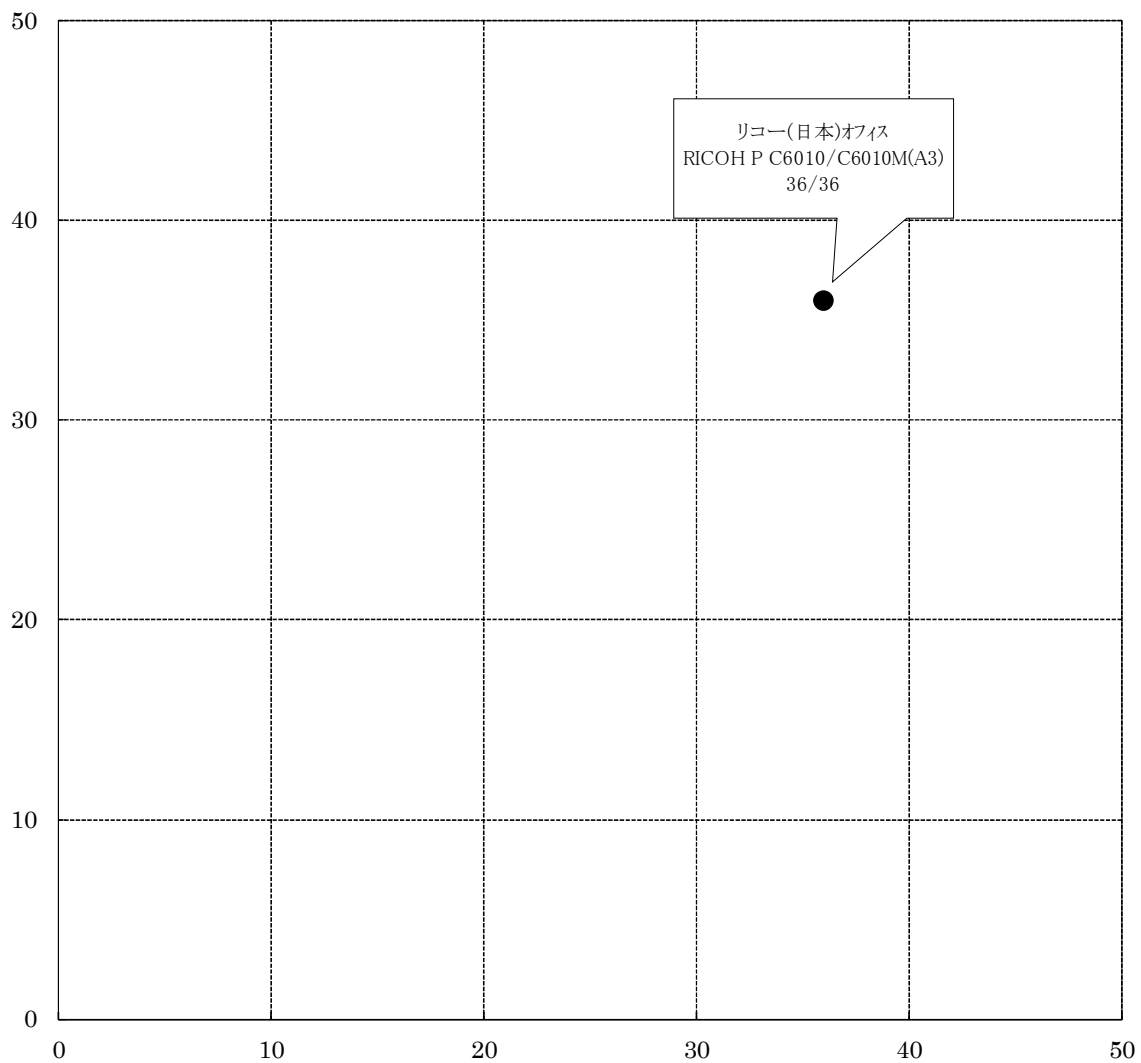
1. モノクロ MFP (A3・A3+・・・●、A4・・・▲)

モノクロ (PPM)



2. カラープリンタ (A3・A3+・・・●、A4・・・▲)

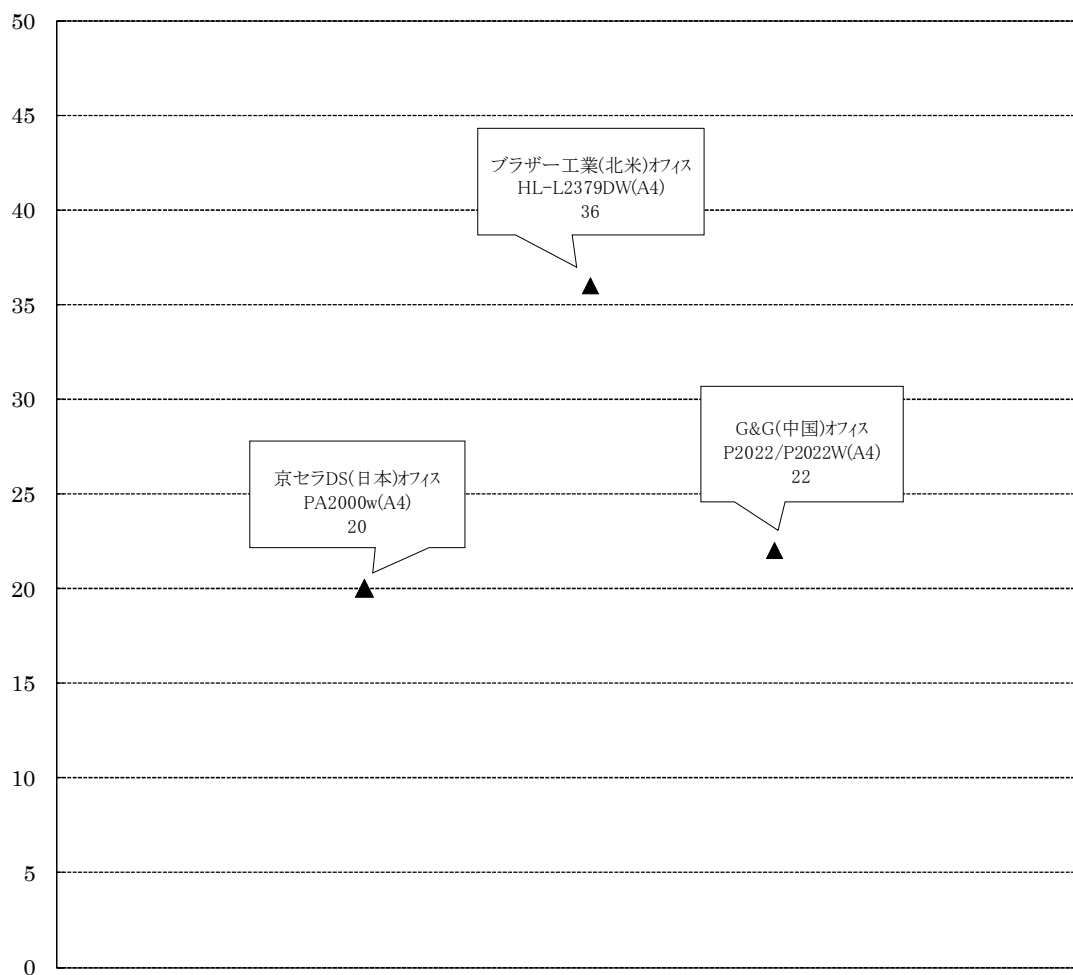
モノクロ (PPM)



カラー (PPM)

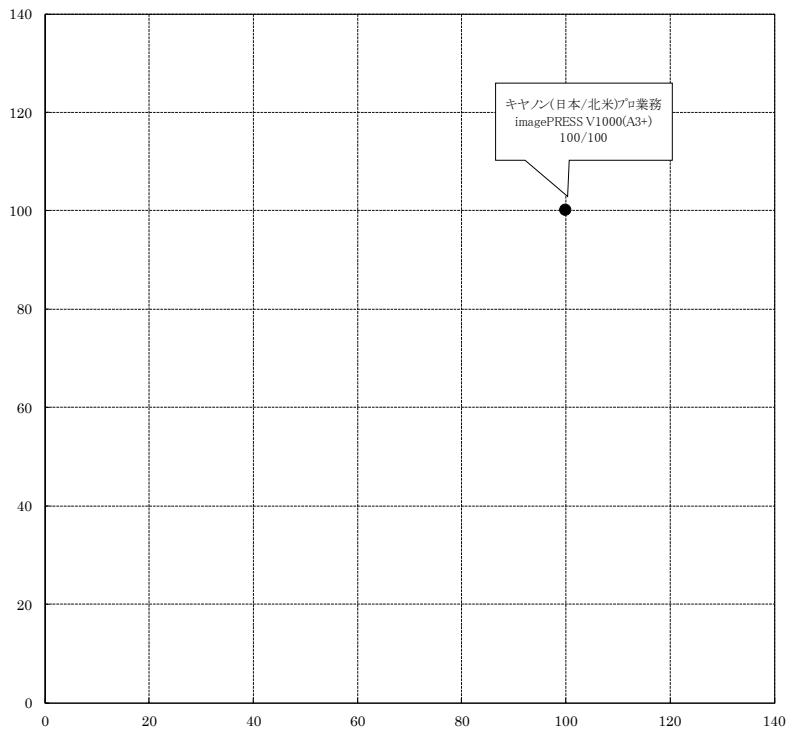
3. モノクロプリンタ (A3・A3+・・・●、A4・・・▲)

モノクロ (PPM)



4. カラープロダクションプリンタ (A3・A3+・・・●)

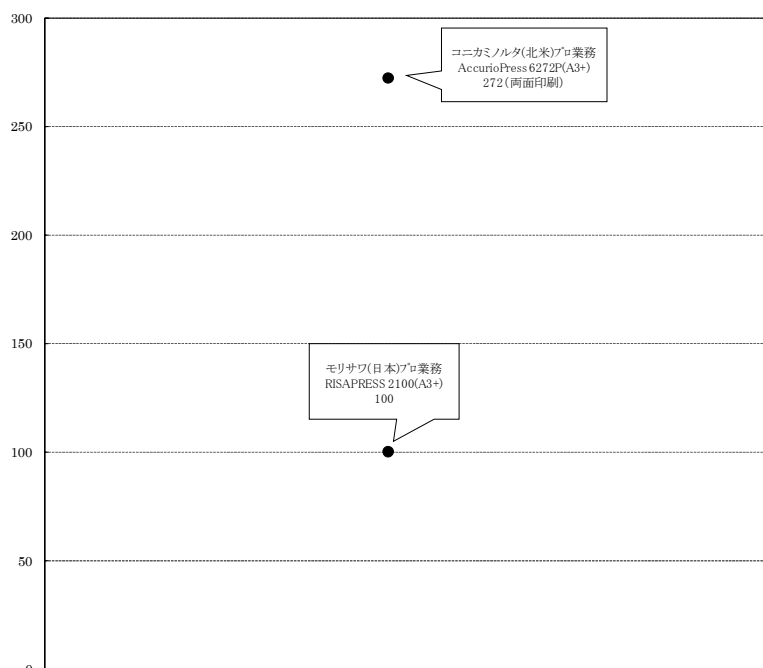
モノクロ (PPM)



カラー (PPM)

5. モノクロプロダクションプリンタ (A3・A3+・・・●)

モノクロ (PPM)



 2022年5月号目次

■ 特集 ■

特集－感光体市場	1
1. 感光体の世界市場	2
2. メーカー別生産量（本数）シェア（2021年）	5
3. 各社	6
[1]キヤノン [2]リコー [3]富士フイルムビジネスイノベーション	
[4]コニカミノルタ [5]京セラグループ [6]シャープ	
[7]三菱ケミカル [8]富士電機 [9]Xerox [10]Lexmark	
[11]HG Technologies [12] Suzhou Goldengreen Technologies	
[13] Guangzhou A&G Optoelectronics Technology	
[14] Huaian Gantech Opto-Electronics	

■ 実販情報 ■

F-カラープロダクションプリンタ（A3+）－キヤノン－3	13
(image PRESS C10000VP/C10010VP)	
F-カラープロダクションプリンタ（A3+）－富士フイルムビジネスイノベーション－3	14
(Reveria Press PC1120S/PC1120)	
F-カラープロダクションプリンタ（A3+）－コニカミノルタ－2	15
(Accurio Press C12000/C14000)	
F-カラープロダクションプリンタ（A3+）－リコー－3	16
(RICOH Pro C9200/C9210)	

■ 新製品及び消耗品情報 ■

[国内]

<オフィス向け>

N-カラープリンタ（A3）－リコー－2	17
(RICOH P C6010/C6010M)	

N-モノクロプリンタ/MFP（A4）－京セラドキュメントソリューションズ－2	23
(PA2000w/MA2000w)	

<プロノ業務向け>

N-カラープロダクションプリンタ（A3+）－キヤノン－1	30
(imagePRESS V1000)	

N-モノクロプロダクションプリンタ（A3+）－モリサワ－2	38
(RISAPRESS 2100)	

[北米]

<オフィス向け>

N-モノクロプリンタ/MFP（A4）－米・ブラザー工業－1	40
(HL-L2379DW/MFC-L2759DW)	

N-モノクロMFP（A4）－米・キヤノン－3	46
(imageCLASS MF3010/MF3010 VP)	

N-モノクロMFP（A4）－米・キヤノン－4	52
(imageCLASS MF453dw/MF452dw/MF451dw)	

<プロノ業務向け>

N-モノクロプロダクションプリンタ（A3+）－米・コニカミノルタ－2	54
(AccurioPress 6272P)	

N-カラープロダクションプリンタ（A3+）－米・キヤノン－2	55
(imagePRESS V1000)	

〔中国〕

＜オフィス向け＞

Nーモノクロプリンタ（A4）ー中国・G&Gー1	56
（P2022/P2022W）	

■生産情報■

Pーキャリアー関東電化工業ー1	57
（キャリアの生産量推移/「2022年版トナーマーケット総覧」より）	
Pー感光体ーリコーー1	58
（感光体ビジネスの動向/「2022年版感光体マーケット総覧」より）	
Pーローラーー住友理工ー1	59
（事務機器向け精密部品事業の状況/「2022年版ローラー系部品マーケット総覧」より）	
Pーローラーー信越ポリマーー1	60
（加圧ローラーの生産量推移/「2022年版ローラー系部品マーケット総覧」より）	

■その他情報■

OーM&Aーリコー/PFUー1	61
（リコーがPFUを買収）	
Oーメキシコ市場参入ー富士フイルムビジネスイノベーションー1	62
（メキシコでオフィス向け小型プリンタの販売開始）	
Oートナーーザイコンー1	63
（ゴールドとシルバーのメタリックトナーの販売開始）	
Oープリンタ国産化ーLenovo Imageー1	64
（中国でプリンタの国産化が進行）	
OーM&Aーアグファ/Incaー1	66
（ベルギーのアグファがInca Digital Printersを買収）	
Oーガーメントプリンターブラザー工業ー1	67
（「GTX600」を4月下旬に発売）	
Oー決算ー複写機・プリンタメーカーー2	69
（複写機・プリンタ国内メーカー各社が2021年度決算を発表）	
Oー決算ー中国メーカーー2	85
（中国メーカー各社が2021年度決算を発表）	
Oー業界関連情報ー各社ー5	88
リコーとサイボウズがデジタルサービス事業に関する業務提携に合意/リコーがmRNAを活用した創薬支援事業を強化/キヤノンITソリューションズが株式会社THSと資本業務提携契約を締結/キヤノンが投資信託業務のDXを支援/富士フイルムビジネスイノベーションが「Apeos Cloud Connector」提供開始/セイコーエプソンが広丘事業所に3つのソリューションセンターを開設/湖北亿隆新材料科技有限公司がカラートナーの生産プロジェクト開始	

統計速報

統計全体のあらまし	95
複写機統計（生産/受入の内訳/販売/月末在庫）	96
プリンタ統計（生産）	100
事務用機器輸出統計	101
（ネットワーク対応MFP/単機能機）	
事務用機器輸入統計	104
（ネットワーク対応MFP/単機能機）	

月刊『電子写真総合情報』

「月刊電子写真総合情報」は、株式会社データ・サプライが1986年9月から刊行。電子写真製品に関する総合的なレポートです。複写機(MFP)、光プリンタ、プロダクションプリンタ等に関する機種別の実販情報、新製品情報(写真掲載)、トナー、レジン、感光体、エンジン部品等の消耗品情報、生産情報、流通情報、ビジネスショー情報、複写機、プリンタ、ファクシミリ、部品の輸出統計速報(財務省)、及び生産統計速報(経済産業省)等を毎月1回レポート。その他、特集記事として、ハードウェア及び消耗品、部品の国内外市場動向、海外への進出情報、国内外展示会情報、OEM情報等のテーマをその都度取り上げ、レポート。

※年会員様は調査テーマを希望できます。(但し、事前相談が必要)

◇毎月20日刊行 年間1,200~1,300頁

◇年会費 ¥770,000(消費税込) 月会費 ¥66,000(消費税込)

英文版 \$7,000(消費税別)
2014年11月号からスタート

特集一覧(毎月のホットな話題を10~15ページ程度にまとめてお届けします)	
2022.4	<ul style="list-style-type: none"> ・レーザー/LEDプリンタの国内出荷動向と売れ筋機種ランキング:レーザー/LEDプリンタの国内市場の概要と、売れ筋機種の販売台数(2021年実績)を報告。 ・InPrint Munich 2022:3月15~17日にドイツのミュンヘンで開催された、主にインクジェット技術に焦点を当てた展示会 InPrint Munich 2022の主要メーカーの出展状況を報告。
2022.3	<ul style="list-style-type: none"> ・ソリューションビジネスの現状:主要なメーカー(5社)の中期経営計画上の位置付けと実績、及び今後の方針を俯瞰し、ソリューションビジネスの課題を改めて検討する。
2022.2	<ul style="list-style-type: none"> ・全世界のMFP(複写機・複合機)出荷動向:MFP(複写機・複合機)の最新出荷動向を取り上げた。全世界の出荷動向、カラー化の進展状況、A4MFP(複写機・複合機)の出荷状況、最新動向などを概略。
2022.1	<ul style="list-style-type: none"> ・レーザー/LEDプリンタの全世界出荷動向:レーザー/LEDプリンタの全世界出荷動向を特集。 ・インクジェットヘッドの外販市場:インクジェットプリントヘッドの外販市場の最新動向を特集。
2021.12	<ul style="list-style-type: none"> ・複合機・プリンタ業界における2021年の振り返りと2022年の展望:本誌で取り上げた2021年の重要ニュースについて、最新情報を追記していく形で振り返りながら、2022年の業界を展望する。
2021.11	<ul style="list-style-type: none"> ・FESPA 2021:10月にオランダのアムステルダムでFESPA 2021(FESPA Global Print Expo 2021)が開催。同展示会に出展した主要メーカーの展示動向などをレポート。現地取材は、弊社と提携関係にあるi4 inkjet Ltd社(本社:アイルランド)が実施。
2021.10	<ul style="list-style-type: none"> ・Remax2021:展示会に出展したアフターメーカー、ハードウェアメーカー全115社(予定も含む)の最新情報(設立年、会社所在地、出荷数量他)をレポート。 ・OGBS2021:Tシャツプリントなどの「ガーメントプリンタ」にフォーカスし、インクジェット方式の機器を始め、アイメックスが開発したトナー扱いの機器等をレポート。
2021.9	<ul style="list-style-type: none"> ・トナー市場:複写機・レーザープリンタのトナーの最新市場動向を取り上げた。 ・中国プリンタ市場の最新動向:中国におけるプリンタ市場の最新動向に加え、中国現地メーカーの概要、また日本メーカーと中国メーカーの提携関係などを概説。
2021.8	<ul style="list-style-type: none"> ・MIF(MFPメーカーのMIFの状況):2020年の主要MFP(複写機・複合機)・プリンタメーカーのMIFの状況をレポート。 ・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2021年4月~6月期(第1四半期※キヤノン)は第2四半期)の決算を概括。
2021.7	<ul style="list-style-type: none"> ・トナー用レジンの最新市場動向:トナー用レジンの世界市場と日本メーカーの最新動向を概観。
2021.6	<ul style="list-style-type: none"> ・複写機/プリンタ用部品(ローラー/ベルト/ブレード)の最新市場動向:ローラー/ベルト/ブレード系の機能部品市場の概観。 ・EUにおける酸化チタン規制と各社の対応:主要トナーメーカーの酸化チタン規制への対応状況を伝える。
2021.5	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘビープロダクションプリント市場の最新動向:同市場での印刷方式別の本体出荷動向やサイズ比率、メーカーシェアなどを概説。
2021.4	<ul style="list-style-type: none"> ・感光体市場:ポストコロナにおいての全世界の感光体市場を概観。
2021.3	<ul style="list-style-type: none"> ・レーザー/LEDプリンタの国内出荷動向と売れ筋機種ランキング:レーザー/LEDプリンタの国内市場の概要と、売れ筋機種の販売台数を報告。
2021.2	<ul style="list-style-type: none"> ・世界のMFP(複写機・複合機)出荷動向:全世界の出荷動向、カラー化の進展状況、A4MFP(複写機・複合機)の出荷状況、最新動向などを概略。
2021.1	<ul style="list-style-type: none"> ・レーザー/LEDプリンタの全世界出荷動向:レーザー/LEDプリンタの全世界出荷動向を特集。 ・インクジェットヘッドの外販市場:インクジェットプリントヘッドの外販市場の最新動向を特集。
2020.12	<ul style="list-style-type: none"> ・全世界における複写機・プリンタの稼働台数(MIF)推移:各社の複写機やプリンタの出荷台数と、それらがどの程度市場に滞留しているかを示す「市場残存率」をベースに、各社のMIFを算出。このMIF市場とトナー出荷量の情報を合わせて分析。
2020.11	<ul style="list-style-type: none"> ・ソリューションビジネスの現状:複合機・プリンタメーカー各社のソリューションビジネスの現状を取り上げた。ソリューションビジネスの方向性を把握し、ビジネスへの影響を推し量ることが、各社のパフォーマンスを占う上で重要な要素となると思われる。
2020.10	<ul style="list-style-type: none"> ・トナー市場:複写機・レーザープリンタのトナーの最新市場動向を取り上げた。新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的な感染拡大が大きな影響を与えた、トナー市場の現状と今後を考察する。
2020.9	<ul style="list-style-type: none"> ・複写機・プリンタ業界のOEM&提携関係と今後の業界再編:ポストコロナ時代に向けて大きく変化しつつある各社のOEM&提携戦略の現状を概観しつつ、各社が業界再編においてどのように参加していくかを、弊社独自の視点でまとめた。
2020.8	<ul style="list-style-type: none"> ・APPPEXPO 2020:7月に中国・上海市の国家会展中心において開催された第28回上海国際広告技術設備展覧会(通称APPPEXPO)。サイン印刷市場の概要と同展示会に出展された大判インクジェットプリンタメーカーの展示についてレポート。 ・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2020年4月~6月期(第1四半期※キヤノン)は第2四半期)の決算を概括。
2020.7	<ul style="list-style-type: none"> ・プロダクションプリンタ市場:プロダクションプリンタの出荷現状と、特色ある機種、トナー量などに焦点をあててレポート。 ・欧州における酸化チタン規制と各社の対応:欧州における酸化チタン規制の概要と主要トナーメーカーの最新対応状況を報告。
2020.6	<ul style="list-style-type: none"> ・欧州におけるハードウェア市場動向:複写機・プリンタの一大マーケットである欧州におけるハードウェア市場動向を概説。欧州全体の最新市場動向やコロナショックによる最新予測シナリオ、主要国におけるメーカーシェアなども取り上げた。 ・決算:定複写機・プリンタメーカーの2019年度(キヤノンのみ2019年12月期)決算を概括。
2020.5	<ul style="list-style-type: none"> ・定着器用部材(ローラー・ベルト)の最新市場動向:定着器用部材の最新市場動向と最新トレンドを概観。
2020.4	<ul style="list-style-type: none"> ・感光体市場:全世界の感光体生産量の推移をまとめ、日本メーカーの生産状況を海外メーカーと比較しながら概観。また、日本メーカーの動向も各社ごとにまとめた。

株式会社データ・サプライ刊行物案内／申込書

（ 刊行日・価格の
変更があります ）

住所：〒110-0005 東京都台東区上野6-6-1 舶来堂ビル5F
 TEL：03(3831)9201、FAX：03(3831)9204
 E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp
 ホームページ：http://www.datasupply.jp/

- 以下の枠内にご記入いただき、下表のご希望の調査資料に希望部数、金額をご記入ください。最短で翌日（部数、地域による）に到着するように発送いたします。
- 申込はメール、FAX、郵送のいずれでも可能です。申込と同時に現物と請求書を発送させていただきます。尚、発刊日前の申込につきましては、申込時に半金の請求をし、発刊日に残金（現物とも）の請求をさせていただきます。

申し込み日 2022年 月 日

御社名

御住所 〒

御電話番号

御担当部署

御担当者

	日本語版		英語版		部数	金額
	価格 (消費税別)	刊行日	価格 (消費税別)	刊行日		
《 定期刊行物 》						
* 「月刊電子写真総合情報」 一電子写真に関する総合的なレポート（1986年～） 年間1,200～1,300頁	年会費：¥700,000 月会費：¥60,000	毎月 20日	\$7,000 \$600	毎月末	日 英	年 月号より ヶ月／年
i4inkjet [Directions] (年6回発行、年300頁～) ※インクジェット関連の特許技術レポート	—	—	¥550,000～	2021年 7/27～	英	
《 2022年刊行予定物 》						
* 2022年版[感光体マーケット総覧] 『基幹部品としての重要度を堅持する感光体市場の展望』	¥500,000	2/25	\$5,200	4/20	日 英	
* 2022年版[ローラー系部品マーケット総覧] 『共存共栄関係の構築を目指す部品業界の総合分析』	¥400,000	4/25	\$5,000	注文対応	日 英	
* 2022年版[トナーマーケット総覧] 『ハイブリッドワーク時代に於けるトナー市場の総合分析』	¥600,000	6/24 予定	\$6,000	8/下予定	日 英	
* 2022年版[インクジェット印刷マーケット総覧]	¥500,000	10/下予定	\$5,000	12/中予定	日 英	
* 2022年版[MFPマーケット総覧] (フルレポート) 総合分析編・PPC市場編／プリンタ・プロダクションプリンタ市場編	¥600,000 各¥350,000	12/下予定	— —	—		
《 2021年刊行物 》						
* 2021年版[感光体マーケット総覧] (286頁) 『戦略転換が求められる感光体業界の試練』	¥500,000	2/25	\$5,200	4/26	日 英	
新レポート * 2021年版『出力機器関連機材ハンドブック』(282頁)	¥200,000	3/24	—	—		
* 2021年版[ローラー系部品マーケット総覧] (630頁) 『コストと品質が命綱となったローラー系部品業界の未来』	¥400,000	4/22	—	—		
* 2021年版[トナーマーケット総覧] (572頁) 『働き方の多様化で変化が加速するトナー市場の最新動向』	¥600,000	6/25	\$6,000	8/24	日 英	
* 2021年版[インクジェット印刷マーケット総覧] (377頁) 『新たなイノベーション創出を目指す 産業用インクジェット業界の最新動向』	¥500,000	10/26	\$5,000	12/10	日 英	
* 2021年版[MFPマーケット総覧] (フルレポート) (640頁) 『業界変革期を迎えた複合機・プリンタ市場の将来性分析』 総合分析編・PPC市場編／プリンタ・プロダクションプリンタ市場編	¥600,000 各¥350,000	12/22	— —	—		
《 その他の刊行物 》						
* 2014年版[企業便覧シリーズ] (128頁) 『中国の機能性部品ローカル企業100社便覧』	¥150,000	2014年 9/29	\$1,500	2014年 10/31	日 英	
* 2013年版[オフィスユーザー調査] 分析編(810頁)、写真データ(535頁) 『インドにおける500社の複写機・LBP等の写真付ユーザー実態調査』	¥800,000	2013年 9/25	—	—		